

熱い思い

が語る

に会
く
ふ交
じ流

予定だ」と述べ富士山に
込める熱い思いを語つ
た。

どに熱心に取り組んだ。
床面(路面)の滑り測
定については、これまで
発注者・施工者・管理者
ともに何を根拠に安全性
を確認したらよいか分か
らず、情報が混乱してい
た。

また、静岡県のさらなる躍進をテーマに県庁各課の協力の下、新東名高速道路の開通や新産業創出プロジェクトなどを紹介する過去最多の30ブースが出展し、来場者へのPRを行った。

さるに第一部の交流会の会場では、ホテルの協力で静岡の食材をふんだんに使用した「ふじのくに食の都コーナー」や「B級グルメコーナー」なども設けられ会場を盛り上げた。年1月末までに正式な推薦書となる。そして春から秋ごろに専門家が世界文化遺産としてふさわしいかの確認に訪れる

近年、「東京都福祉のまちづくり条例施設整備マニュアル」でJIS A1454に規定の試験機「O.Y.PSM」で測定した滑り抵抗係数(CSR値)が採用されたことにより、各県・公益法人等でも準拠され、国内で歩行時における床・路面の滑りについてはCSR値で管理するのが一般的となつた。

国土交通省認可の東日本防滑振興会では、認定の「滑り測定士」が客観的な立場でCSRを測定、報告書を作成している。

今回の講習会は、この「滑り測定士」の前段となる「滑り測定士補」を対象とするもの。士補資格取得者が、測定現場に補助として最低5現場立ち会うこと、「滑り測定士」試験の資格取得要件を得る。

本防
東滑

転倒事故の防止へ

滑り測定士補講習会

協同組合東日本防滑振興会はこのほど、「滑り

田区の神田ビジネスセン

ターで開催した=写

真。高齢化社会における転倒事故防止に

向け、客観的な立場

でCSR(滑り抵抗

係数)を測定できる

「滑り測定士」の資

格を得るためにステ

ップとなる講習で、

参加者は測定手法な

